

いなむら市長の「い~なこの街 尼崎」 6月

テーマ：ボートレース尼崎 S G 第 17 回オーシャンカップ

DJ(林)

いなむら市長の「い~なこの街 尼崎」。月に1度、市長にご出演いただくこのコーナー。稲村市長、今回もよろしくお願ひします。

市長

はい、よろしくお願ひします。

DJ(林)

さて、今回は「ボートレース尼崎 S G 第 17 回オーシャンカップ」について、お話をうかがいたいと思います。

市長

はい。なんと今回は、リスナーの皆さんへのプレゼントもご用意しておりますので、皆さん最後まで、楽しみにお聞きください。

DJ(林)

はい。精鋭達が集う大きなレース、S G レースがボートレース尼崎で7月に開催されるんですね。

市長

はい、そうなんです。皆さんボートレースのテレビコマーシャルで、南明奈さんが出演してらっしゃるので、ご覧になったこともあるんじゃないかなあと思うんですけど。

DJ(林)

アッキーニャさんですね。

市長

そうです、そうです。このS G レースというのは、競馬で言うG I レースに相当するような大きなレースなんです。この機会に、これまでボートレースに馴染みのなかった方にも是非興味を持って頂きたいと思っています。

DJ(林)

そうですね。この機会に、私もいろいろと知りたいと思います。阪神電車に乗っていると、ちょうどレースをしているところが見えることもありますね。

市長

はい、そうなんです。ボートレース尼崎は、阪神・尼崎センタープール前駅のすぐ北側にあります。

実はこの場所はかつて大湿地帯だったんです。葦が生い茂り、夏には蚊が大量発生していて、それが全市に散らばっていくということで、当時、非常に尼崎での悩みの種になっていたそうです。なんとですね、「あまがさき」の「が」に、このぶ〜んと飛ぶ「蚊」の字をあてて、「あまかさき」と呼ばれるほどだったという、そんな話もあるんですよ。

DJ(林)

そうなんですか。そんなに蚊が多かったらつらいですよ。

市長

はい。その蚊の発生地となってしまうていた大湿地帯に生活環境の整備を兼ねて、競艇場を作ろうということになったんだそうです。湿地を掘って大きな池を造って、また、その掘った土砂は、湿地帯の埋め立てに使って、学校や公園用地の造成に活用されたそうです。

DJ(林)

面白い発想ですね。蚊の多い湿地が競艇場や学校用地などに生まれ変わったわけですね。

市長

はい、先人たちの知恵だなと思います。

DJ(林)

今年で60年目になるボートレース尼崎ですが、今年は工事もしているんですよ。

市長

はい、従来は船券売り場だった2号館、そういう建物があるんですけども、近年は老朽化のためにもう使用していない状態だったんです。それを今年3月から撤去工事をしています。「オーシャンカップ」が開催されるときには、撤去工事も完了して、見通しのいい広々とした景観が出来上がっている予定なんです。

DJ(林)

そうですか。

市長

そして、この撤去工事、実はもう一つ大きな意味がありまして、市はボートレース尼崎を、災害時の大規模避難施設に位置づけてるんです。この2号館の撤去によって、避難の際の動線も非常にスムーズになりますので、避難場所としての機能充実にもつながるといふふうに思っています。

DJ(林)

そうですね。市民の安全、安心につながりますね。

さて、7月に開催の「SG第17回オーシャンカップ」ですけれども、名前から海をイメージしますね。

市長

はい、平成 8 年に「海の日」を記念して創設されたレースだということで、今年で 17 回目となります。尼崎では、平成 13 年以來 2 回目の開催です。オーシャンカップ競走は、過去 1 年間に開催された G 、 G 、これはまあ S G よりはもう少し小さめのレースになりますけれども、その優勝戦の得点上位者等から選ばれた 52 人の選手が出場します。地元からも魚谷選手、吉田選手が選ばれています。

DJ (林)

そうですね。地元の選手を応援するのもいいですね。

市長

はい、ぜひ応援したいと思います。それに、ボートレースは、男女混合でレースをするんです。今回のレースに出る選手の中にも女性の田口選手がいます。

DJ (林)

そういえば、夫婦とも競艇選手である 2 人が大きなレースに同時に出場して、「最強の夫婦対決」と言われたこともありましたね。

市長

はい、そうです。山崎智也選手と横西奏恵選手ですね。2011 年 5 月の S G 笹川賞に夫婦揃って参戦をされて、ドリーム戦で直接対決。夫婦で先頭争いをした結果、横西選手が快勝、山崎選手は 3 着でした。

DJ (林)

そうですね、女性上位ですね。

市長

このとき、横西選手は女子選手として史上初めて S G ドリーム戦に出場し、しかも 1 着という快挙だったんだそうです。今回のオーシャンカップは残念ながら横西選手は補欠、52 人の出場選手には入っていらっしやらないんですけども、山崎選手のほうが出場予定だそうです。

DJ (林)

そうですね。それは楽しみです。

さて、ボートレースのニュースと言えば、最近、「ベテラン選手が最年長勝利 更新」というニュースも耳にしました。

市長

はい、6 月 2 日に加藤選手が、なんと、70 歳と 142 日で勝利したという最年長記録を、わずかその 2 日後に、今度は谷口選手が 70 歳と 189 日という記録で塗り替えたんです。

DJ(林)

すごいですね。70歳ですか。他のスポーツと比べると、高齢でも活躍できる珍しいスポーツですね。ベテラン選手には遠い過去の話になりますけれども、初め、選手にはどのようにしてなるのでしょうか。

市長

はい、福岡県にやまと学校という養成所があるんです。1年間の研修期間を全寮制の生活で過ごします。入学試験も難関なんだそうです。

DJ(林)

そうですね。寮生活というと、厳しそうですね。

市長

はい、朝6時の起床から、夜10時の消灯まで徹底管理なんだそうで、定期的に身体検査があったり、非常に厳しい管理がなされているそうです。それに、外出も自由にはできませんし、携帯電話も持ち込み禁止なんだそうです。

DJ(林)

そうなんですか。そんな中、苦勞して訓練を積んできているんですね。

市長

はい、そうなんですよ。養成過程の途中で退学してしまう方も多いそうで、卒業して、選手になった方というのは、本当に努力された方なんだと思います。

DJ(林)

本当ですね。今度のオーシャンカップでは、そのようなことを思いながら応援したいですね。

市長

本当です。是非みんな一緒に応援したいと思います。オーシャンカップは、7月17日から22日、オートレース尼崎で開催です。今年は、「夏の家」をテーマに、ファンの皆さまやご家族で楽しんでいただけるさまざまなイベントやファンサービスをご用意しています。

DJ(林)

どんなイベントが行われるんですか。

市長

はい。まず、お子様連れで喜んでいただけるイベントとして、22日、子どもたちに大人気の「特命戦隊ゴーバスターズショー」のキャラクターショーを開催します。また、21・22日の両日は、夏にも関わらず場内に雪遊びコーナーを設けます。雪遊びを楽しんでもらうこのイベント、ちょうど節電の夏でもありますし、家族みんなで来ていただきたいなと思います。さらに、その日は、お子様を対象としてア

イスクリームのプレゼントも予定しているんですよ。はい、また、エコをテーマにした「流木アートスクール」や「エコマジックサイエンススクール」も開催します。親子で楽しみながら環境問題に興味を持っていただきたいと思っています。もしかしたら夏休みの宿題のヒントもあるかもしれません。

DJ(林)

そうですね。大人向けのイベントなどもありますか。

市長

はい、もちろんご用意しております。お父さんやお母さんたちには懐かしい「山本リンダさんの狙い撃ちサマーライブ」や「ザ・ワイルドワンズのサマーライブ」、また、オートレーサーの森且行選手とボートレーサー松井繁選手のサマートークショーなど、競艇ファン以外の方にも楽しんでいただけるイベントを、7月17日から22日の間、毎日開催いたします。なんとなんと、アッキーニャこと南明奈さんもボートレース尼崎に来てくれるんですよ。楽しいイベントがいっぱいですので、皆さん是非ボートレース尼崎にお越しください。

DJ(林)

ボートレース尼崎といえば、多幸焼が名物ですよ。

市長

そうなんですよ。これは知る人ぞ知るかもしれませんけれども、実はタコは入っていないかわりにこんにゃくが入っている、一見たこ焼きのような「たこやき」。幸(さち)「幸せ」ですよ、この「幸」が多いという字を当てて、「今日は当てよう！」という方々の心と味覚をつかんでいます。なんと、6個入りでたったの1コイン100円。タコが入ってなくても十分おいしい。お値打ちです。実は、今年は「オーシャンカップ」に合わせてご当地グルメフェスタも開催予定なんです。

DJ(林)

そうなんですか。ご当地グルメですか。

市長

はい、尼崎産の食材を使った「尼バーガー」と、尼崎あんかけちゃんぽんが食べられますよ。

DJ(林)

いいですねえ。楽しみです。

市長

はい。最後に是非皆さんにお伝えしたいことがあります。もちろんご存知の方も多いと思うんですけども、このボートレースの収益というのは、日本財団を通じて福祉分野での社会貢献に活用されたり、何より、本市のまちづくりのために、大切に活用させていただいています。先ほど、湿地帯だったということを手返にとり、街づくりに貢献をしてきてくれたということも話しましたが、その後、

長い歴史の中で尼崎市の街づくりを支えてきてくれているのがこのボートレースなんです。

市長

ボートレース尼崎の場内でも、社会貢献活動のPRなどもしていますので、ぜひこちらもお覧ください。

DJ(林)

はい、わかりました。さて、リスナーの皆さん、今回はプレゼントがありますよ！

市長

はい、今回は特別に、ボートレース振興会のクオ・カードをプレゼントします。南明奈さん扮するアッキーニャのデザインですよ。赤色バージョン、黄色バージョン、青色バージョン、各3名の方にプレゼントいたします。

DJ(林)

楽しみです。ご希望の方は、おところ・お名前・電話番号・「ボートレースクオ・カードプレゼント係」とお書きになって、FAX又はメールでご応募ください。FAX番号は06-6483-2501、06-6483-2501、また、メールアドレスは、mail@fmaiai.comです。7月8日(日曜日)が締め切りです。みなさまからのご応募お待ちしております。

それでは稲村市長、本日もありがとうございました。

市長

はい、ありがとうございました。皆さんぜひオーシャンカップ来てくださいね。

DJ(林)

いなむら市長の「い~なこの街 尼崎」。今回は、7月17日から22日にボートレース尼崎で開催される、「SG第17回オーシャンカップ」についてのお話をお聞きしました。

それでは、次回の放送もどうぞお楽しみに・・・。